

私の主張 ひとりの日本人として【相互リンク】 掲示板より転載 2007年05月09日(水)19時55分

14924 . 時代の中でどうしても出来ない事はあるのだろうか

名前：ピカドン 日付：5月9日(水)19時55分

一番上の叔父の戦時歴がどうなっているのか、これまで調べた事も聞いた事も詳しい話は殆どがありませんでしたが、軍人として乗艦していたのか商船の民間人としての乗組員かは解らないです。

調べるとすれば厚生労働省の企画課ではないかと思うのですが、親族だと証明出来れば教えてもらえるそうです。但し、東京まで行かなければ成らないかも知れません。

私は小さかったので殆ど記憶が途切れ途切れですが、一番上の叔父の戦死は父から聞いたような程度で、輸送船での勤務の話は母が聞いていたのを大人になってから聞いたものです。残っている叔父ともそういう話になった事が無かったため、会う機会も少なく聞いてみたいものです。

仰る様に恩給は何処までさかのぼるのかと考えますと、非常に難しい問題だと思います。

父から聞いた記憶も当然ありませんし、母から僅かだがそういうものを貰っている程度で、それ以上どうと言う話も聞いた事はありません。

父が生きていればあれこれ事細かく聞けたのですが寂しい限りです。

41才で病に倒れ生前に書き残したもので、最後に書いてあるのは「大日本帝国萬歳」。

父の戦時戦後履歴で母が出してくれたもので「船舶部隊内配置並二潜水技術員二對スル經歷」というものがあり、終戦後は昭和二十一年に呉地方復員局へ勤務、最後が昭和二十二年三月に大竹掃海部で「宵月」乗艦。同年四月十二日、依願免本官。